



## 伊与喜小学校

『心豊かに学び合い高め合う児童の育成』をめざして

校長 橋田まや

### ◆はじめに

本校は、三方山や伊与木川などの豊かな自然に恵まれ、校区は6地区からなり、とても協力的で温かい地域です。本年度は、児童数21人、完全複式の3学級編成でスタートしました。

児童は、明るく素直で、休み時間は全校でよく遊びます。学習にもまじめに取り組み、行事や作業も労をいとわず、みんなで協力して活動することができます。しかし、自分の考えを発表したり、学習や活動を主体的に行ったりすることには課題が見られます。

### ◆学校教育目標

学校教育目標を『心豊かに学び合い高め合う児童の育成』と設定し、具体的には、

- ① 課題に主体的に向き合い、自分の考えや思いを表現する
- ② 仲間と共に学び合い高め合う

③ 学んだことを生活に生かすとして、学び合い高め合いながら、学校という集団の中でこそ学びや、仲間と共に学ぶ喜びを大切にした心豊かな学校経営をめざしています。

### ◆校内研修の充実と指導力の向上

研究主題を『主体的に学び、共に高め合う児童をめざして』と設定し、基礎学力の定着、主体的な学びの確立、安心して学習に取り組める学級、支え合える仲間づくりをめざして、7回の研究授業を含む年間30回以上の校内研修を実施して取り組んでいます。

また、本年度は、「高知県中山間地域小規模・複式教育研究推進事業」の1年間の研究指定をいただき、「複式の授業づくりと児童の意欲的・主体的な学びの育成」について黒潮町の他の4校の協力校とともに研究を推進しています。そして、1月には、研究成果発表としての公開授業研究会を開催する予定です。

### ◆学力の向上

#### ① 主体的な学び合い

複式学級では、2つの学年が同じ教室で同時に学習を行うために、教師が片方の学年からもう片方の学年へ移動するという「わたり」を使っ

て指導をしていきます。教師が直接子どもと関わる「直接指導」と、教師が片方の学年と関わっているときに自分たちで学び合う「間接指導」となりますが、1時間の学習の流れが途切れないで、両学年で実現できる指導が重要となります。

そこで、ポイントとなるのが、間接指導の時の子どもどうしの主体性な学び合いです。本校では、とも学びの話し合いや練り合い、まとめなどを学習リーダーを中心に意見を発表し合い、思考していきま



5・6年複式の公開授業の様子

### ② 言語力・表現力の育成

自分の考えの説明や表現を豊かにする手立てのひとつとして、「言語目標」を設定し、「授業で使えるようにする言葉」を具体的に示して取り組んでいます。学びの土台となる言語を、日々の授業を中心に子どもにも確実に定着させ、学力の向上にも繋げていきます。

### ③ 学力調査の結果から

左記のグラフは、今年の4月に実施した標準学力調査の結果です。4・5年生に目標値を下回るものがあり、特に、国語では「物語や説明文の内容の読みとり」、算数では「四則計算」、に課題が見られました。この結果をもとに課題の分析を行い、学校全体で取

### 平成25年度標準学力調査結果より

	2年	3年	4年	5年
国語	1.24	1.14	0.97	0.95
算数	1.21	1.13	1.21	0.96
理科	—	—	0.96	0.75

※目標値を「1」とした本校の平均正答率指数

り組むことと、学級で取り組むことの両面から全児童の学力の向上を図る取り組みを行っています。

### ◆豊かな心の育成

学校目標にも掲げているように、「心豊かな子ども」の育成をめざして、人権教育・道徳教育を核に心の教育を推進しています。日々の教科学習はもちろん、学校行事や体験学習などを通して学びを深め、行動化につなげていきます。

### ◆体力向上の取り組み

年間を通しての朝マラソンや一輪車、水泳や駅伝の特別練習。日々の体育授業の工夫と充実に取り組み、体力・運動能力の向上を図るとともに、心も体も豊かな子どもをめざしていきます。

### ◆仲間づくり

毎日の集団登下校や学校行事など、すべての活動において5・6年生がお手本を示し、下級生をリードしていきます。休み時間も全校児童が入り交じり、遊びを通していろいろなことを学び伝承していきます。こうして、集団の中で仲間意識や人を大事にするなど子ども学んでいきます。

### 三浦小学校

『力のある学校づくり』を

目指して

校長 山崎利彦

#### ◆はじめに

本校は、本年度、1年生6人、2年生10人、3年生9人、4年生8人、5年生11人、6年生5人の児童数49人でスタートしました。設置基準では複式学級が1学級の5学級編成となりますが、教頭が学級担任を持ち、複式解消を図り6学級編成の学校として学校運営を進めています。

本校は、昨年度、新校舎改築となりました。新校舎は、太陽光発電の設備も備えられ、地域の防災の拠点としての役割も担いますが、日常的には、木が豊富に活用された教室環境の中で、温かみのある教育活動を営むことができることに大きな利点を感じています。



#### ◆学校教育目標

『人権尊重を基盤に、自ら学び豊かさたくましさをもつ子どもを育てる』

○確かな学力をもつ 子ども〔知〕

○豊かな人間性のある 子ども〔徳〕

○たくましい心と体を 持つ子ども〔体〕

として、バランスのある教育活動の展開に努めています。

#### ◆教員の授業力向上に向けて 校内研究の推進

今年度の研究主題は、『主体的な学習活動をめざした授業づくり』とし、サブテーマを『よく読み、よく聞き、よく考え、ゆたかに表現する力を育てる』として、国語科の説明文を中心とした授業研究を柱に据えて取り組みを進めています。

これは、各種の学力調査の結果・分析から、本校の子どもたちは、基礎的な内容においては定着・向上がみられているものの、初めての文章に対する読みとりが弱いこと、複数の条件に対応できにくいこと、また記述式の問題に課題がみられることなどが課題に上げられ、その解決にむけた実践を積み重ねていくことが必要だととらえたからです。

『子どもの課題は、教師の指導力の課題でもある』という認識に立てば、お互いが授業

のあり方に向き合う必要があります。

今年度も校内研究に全教員の授業研を組んでいます。その取り組みを通して、自校の課題共有を図り、三浦の子どもたちを高める日々の教育実践を重ねています。

#### 平成25年度標準学力調査結果

国語	三浦小	目標値	
2年	77.4	78.0	≒
3年	75.3	74.6	≒
4年	80.6	68.8	↑
5年	82.6	68.8	↑
算数	三浦小	目標値	
2年	80.3	79.3	≒
3年	76.4	72.0	↑
4年	83.3	67.2	↑
5年	77.5	63.9	↑

#### 平成25年度全国学力調査結果

	三浦小	全国正答率	
国語A	72.2	62.7	↑
国語B	60.0	49.4	↑
	三浦小	全国正答率	
算数A	89.5	77.2	↑
算数B	75.4	58.4	↑

右に本校の学力調査結果を紹介していますが、高学年になるに従って目標値や全国正答率よりも大幅に高い結果を残しています。少人数の本校においては、平均値は一つの指標であることから、一人ひ

とりの力を確実に付けていく日々の学級指導を今年度も徹底していききたいと思えます。

#### ◆運動の習慣化を図る取り組み 業間運動

本校では、学校にある固定遊具や一輪車を使って、体育の日常化を図る取り組みを週4回、2・3校時の間の長休みに実施しています。内容は、『鉄棒』『タイヤ』『平均台』『うんてい』『一輪車』を組み合わせて、学年ごとにサーキット的に行うものです。終わった子どもから自由に外遊びをするわけですが、子どもたちはそれぞれの目標を持って、意欲的に取り組んでいます。特に一輪車は、できる技能によって自分のランクアップが校内に掲示されますので、放課後なども一輪車の練習に取り組む子どもの姿がよく見られます。



このように、普段の学校生活の中にも運動を習慣化させる取り組みがあるのも本校の特色です。

#### ◆教育活動の根幹に「あいさつ・返事」「時間を守る」

本校でスローガンのなっ

ている言葉は、『元気なあいさつ・返事 三浦小』『時間を守る 三浦小』です。

登校してきた子どもたちは職員室にやってきて「おはようございます！」と元気な挨拶をして教室へ向かいます。「○○さんおはよう！」と先生方の声。そして、授業が始まりますが、休み時間、チャイムが鳴る頃には子どもたちの姿はほとんど校庭では見受けられません。教室へ入っています。小学校でもチャイム前の行動ができるのです。自律的な態度や意欲は、このような当たり前のことが習慣化する中で培われるものだと思います。これからも「あいさつ・返事」「時間を守る」を学校文化として浸透させていきたいと思えます。

#### ◆おわりに

「知・徳・体」につながる特徴的な内容を紹介しましたが、これらの取り組みは一朝一夕にできあがったものではありません。これまでの実践を培っていただいた先生方に感謝しながら新しい息吹を吹き込み、前向きで活動的な学校文化をこれからも築いていくように、全教職員で協力していきたいと思えます。



## 拳ノ川小学校

生きる力と自主性・

主体性の育成

校長 文野友喜

### ◆はじめに

黒潮町教育委員会より、今年度から再び2年間（文部科学省指定を入れて今年で9年目）の「学校運営協議会（コミュニティ・スクール）」の指定を受け、保護者・地域住民が学校運営に参画し、学校・家庭・地域が一体となった教育の実現と、地域に信頼される開かれた学校づくりをめざしています。

### ◆学校教育目標

「確かな学力を備え、豊かな心を持ち、体力に富み、主体的に活動する拳の子」

重点目標として、「確かな学力を備えた子どもの育成」に取り組んでいます。

### ◆めざす児童像

こころ豊かな子  
 ぶふるさとを誇れる子  
 し主体的に活動する子  
 の能力を出し切る子  
 か体をきたえる子  
 わ和を大切にする子

### ◆3つの大きな課題

昨年度の課題を受け、今年度は次の3つ、  
 ①算数の学力向上  
 ②読書習慣の定着  
 ③あいさつ習慣の定着  
 に取り組んでいます。

### ◆確かな学力Ⅱ知

#### 【校内研修の充実】

研究主題を『生き生きと取り組み、ともに学ぶ子どもを育てる』とし、全教員が授業公開を行っています。併せて積極的に外部講師を招き、教材研究・授業研究を行い、「めあて」「学び合い」「まとめ」を重視した本校の授業スタンダードに沿った複式授業の研究を進めています。

#### 【学力の定着・向上】

毎日の「基礎学力タイム（読書・計算・漢字各十分間）」や「パーフェクトタイム」、「学習ふりかえりタイム」を行い、基礎基本の確実な定着や活用などの問題にも取り組み、学力の定着・向上を図っています。

#### 【読書の充実（豊かな心も）】

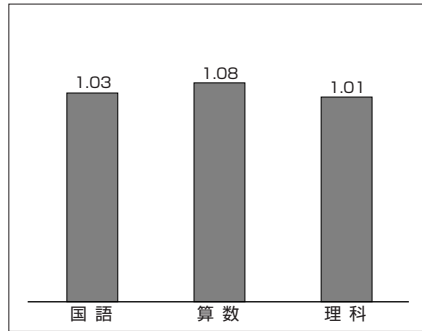
読書は、すべての学力の基礎となるものと押さえ、本校では毎朝10分間の朝読書、家庭での20分間読書、教職員や

児童による読み聞かせにも取り組み、課題である読書習慣の定着を図っています。1学期の図書利用度や読書量の増加に成果が表れています。

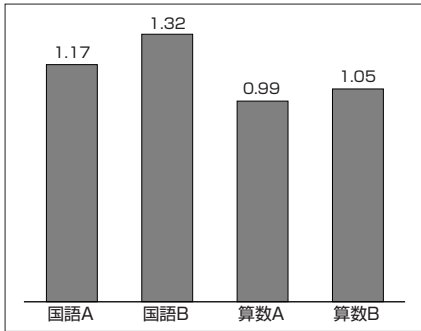
#### 【学力調査の活用】

左のグラフは、2～5年生の今年度の標準学力調査の全国平均正答率の通過率と6年生の全国平均正答率の通過率を表したものです。

標準学力調査



全国学力調査



学力調査の結果を分析し、

課題を明確にするとともに課題に関わる単元の授業公開・研究協議を行うなど、課題解決や授業改善に取り組んでいます。

### ◆豊かな心Ⅱ徳

人権教育・道徳教育を中心に、取り組んでいます。

#### ★児童会活動

- 全校レクリエーション
- 集団登下校

#### ★縦割り班活動

- あいさつ運動など
- 掃除(草引き)など

#### ★集会活動

- 綴り方集会など
- PTA活動
- 親子で腕まくり講座など

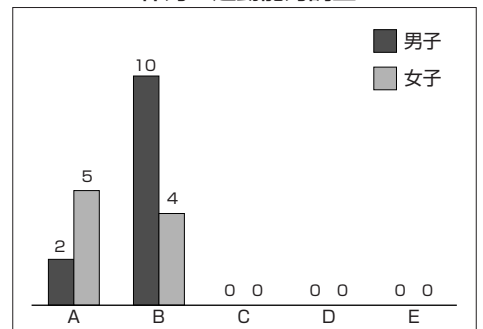
#### ★コミュニティ活動

- 「体力・運動能力調査の活用」

右下のグラフは、今年度実施した全校男子、女子の体力・運動能力調査の総合評価（A～Eの5段階評価）の人数結果です。

課題克服のために、今後も体育の時間の「5分間体力アップ運動」や「わたしたちの体育」を活用した授業の工夫・改善を図り、さらに体力・運動能力の向上に努めます。

体力・運動能力調査



### ◆コミュニティ活動

計画の段階から保護者や地域住民が参画し、地域の自然・文化・人材の活用や教材化を図りながら、本校ならではの豊かな教育活動や体験活動の創造をめざして、「準備から後始末まで一連の活動を児童に」を合言葉に、次の3つのコミュニティ委員会を組織して活動を行っています。

#### ★自然・環境コミュニティ

- うなぎはえ縄漁
- ぼっぼこ(笹)づくり
- 山芋掘り他

#### ★健康・福祉コミュニティ

- 芋の栽培／販売
- 三世代ふれあい健診
- しば餅づくり他

#### ★学び・文化コミュニティ

- 学校の歴史しらべ
- そばまき踊り他